

みつけた！



六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

ミツバチの生態を学びながらキャンドルづくり！

9月28日（土）の午前、（公財）環境科学技術研究所との共催事業として、^{みつろう}蜜蝋キャンドルづくり教室を開催しました。参加者たちは、講師である環境科学技術研究所職員のお二方の解説を聞いたあと、^{みつろう}蜜蝋で自分だけのキャンドルをつくって楽しんでいました。

日本には、古来から住んでいるニホンミツバチと、明治時代にアメリカから輸入されたセイヨウミツバチがいます。

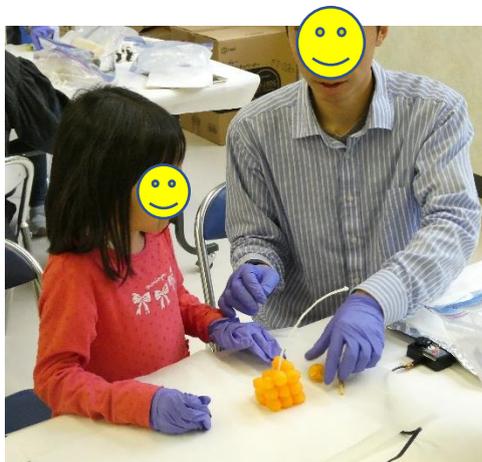
^{みつろう}蜜蝋とは、ミツバチがお腹から分泌する^{ろう}蝋で、ハチの巣の材料となります。^{みつろう}蜜蝋キャンドルは煙や^{すす}煤が出ないことからヨーロッパの教会で重宝されていました。



ミツバチの生態や蜜蝋について解説する講師



参加者にキャンドルの作り方を指導する講師



完成しました！

湯煎して、やわらかくなった蜜蝋に着色したものを、好きな形に造形して、最後に芯をいれるとできあがり！

【参加者の感想】

- ・ハチのことがよくわかり、お話がとてもおもしろかった。
- ・蜜蝋に興味があり、体験出来て良かった。
- ・粘土のような感触で楽しかった。



記念撮影♪